

■(三輪)大神高市麻呂
おおみわのたけちまる
・・・・・・・・ 657=

壬申の乱の功臣。持統天皇が農繁期に行幸するのを諫めたほか、民に意を砕いたと伝えられる。

生。利金の子、安麻呂・狛麻呂の兄。

白村江の戦い • 663 = 6歳 :

・・・・・・・・ 666 = 9歳 :

壬申の乱 • 672 = 15歳 : 壬申の乱が勃発し、大伴吹負が倭京将軍に任命されると、ただちに吹負軍に加わり、その別将となる。同年、近江軍が大和に侵入した際、置始菟とともに、上ツ道蛙つを防衛し、箸陵(倭姫命の墓。桜井市箸中)のほとりで、近江軍を潰滅させた。

・・・・・・・・ 675 = 18歳 :

天武朝の後半に、三輪君から大神(大三輪)君になったらしい。

八色の姓 • 684 = 27歳 : *朝臣姓となる。

天武天皇没 • 686 = 29歳 : 時に冠位は直大驩。*天武天皇の殖宮において、理官(のちの治部省)のことを誅した。

・・・・・・・・ 692 = 35歳 : 中納言直大式。*上表し、農時であるとの理由で、予定されていた持統天皇の伊勢行幸を諫争。冠位を脱して再び諫めたが、天皇はそれに従わず、遂に伊勢行幸を行なった。

・・・・・・・・ 693 = 36歳 :

持統天皇没 • 702 = 45歳 : 従四位上で、長門守になった際、族人が三輪河の辺に集い、送別の宴を設けている。

・・・・・・・・ 703 = 46歳 : 左京大夫。

・・・・・・・・ 706 = 49歳 : 従四位上左京大夫で、没した。

壬申年の功により、従三位を贈られた。漢詩文に巧みで「懐風藻」に作品を残し。「万葉集」「歌経標式」には作歌がみえる。